

目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	25	加齢に伴いあるいは自力で体を動かすことができず、機能低下につながっている利用者がある。	日常の介護の中で残存機能の現状維持を図る。	介護の際に麻痺・拘縮部位へ他動的にケアをしていく。生活の中にレクリエーションを積極的に取り入れる。	12ヶ月
2	23 28	グループホーム内での生活が主になっており、生活の中に刺激が少ない。車いす利用者の外出が少ない。	敷地内の喫茶店に出向く。地域との関わり、家族と一緒に園外へ外出し、精神の安定と生活に刺激をもってもらおう。	喫茶に行く日を決めて外出する。ボランティア、家族に協力してもらい、スーパー、デパートへ買い物に行く。	24ヶ月
3	2	利用者の社会生活、地域との交流づくりが不十分	地域の行事に積極的に参加する機会をつくる。	法人全体で多くのボランティアさんに活動していただいているので、グループホームにも今以上に来ていただき交流する。	12ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。